

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2026 年 8 月吉日

いなか伝承社

壊れた器を、もう一度食卓へ。

熊本出身者が和歌山から「金継ぎ」で被災地の思い出の器をつなぐ

8/28 「令和 8 年熊本地震」金継ぎ修復支援プロジェクト 開始します

熊本出身者が、和歌山から金継ぎで復興支援

2026 年 7 月 28 日に発生した「令和 8 年熊本地震」を受け、和歌山県で地域文化の継承活動などを行ういなか伝承社（代表：田中寛人）は、地震によって破損した大切な器を金継ぎによって修復する「令和 8 年熊本地震 金継ぎ修復支援プロジェクト」を開始します。

本プロジェクトでは、被災された方々から思い出の器をお預かりし、金継ぎによって修復。修復費用を被災者から受け取らず、クラウドファンディングで全国から集めた支援金によって修復し、再び持ち主のもとへ返すことを目指します。クラファンサイト「READYFOR」で 8 月 28 日に公開予定。

「和歌山にしながら、熊本のために何かできないか」

今回のプロジェクトのきっかけとなったのは、いなか伝承社副代表・上野です。

上野は熊本県出身で、2016 年の熊本地震を現地で経験しています。

今回の令和 8 年熊本地震でも、熊本に暮らす家族や友人から被災したとの連絡を受け、その中には、「大切にしていた器も割れてしまった」

という知らせもありました。

熊本から遠く離れた和歌山にいる自分たちに、何かできることはないか。

そう考えたとき、これまで培ってきた金継ぎの技術を復興支援に活かすという考えに至りました。

金継ぎを担当するのは、いなか伝承社副代表・上野

今回、実際の金継ぎ修復を担当するのは、いなか伝承社副代表の上野です。

田中・上野の両名は、根来塗発祥の地・和歌山県岩出市で根来塗を行う塗師（漆塗り職人）から金継ぎについて学び、その後、独学で技術を身につけてきました。

他の活動や拠点の寒さ問題もあり、これまで広く「金継ぎ修理屋」として発信してきたわけではありませんが、今回、熊本の被災地に対して、自分たちが持っている技術でできる支援として、金継ぎ修復を行うことを決めました。

<プロジェクト概要>

項目	内容
プロジェクト名	R8 年熊本地震 被災地の器と思い出を未来へつなぐ金継ぎプロジェクト
実施団体	いなか伝承社
代表	田中 寛人
副代表・修復担当	上野 春香（金継ぎ修復担当）
活動拠点	和歌山県
支援対象	令和 8 年熊本地震の被災地域（主に熊本県）
CF プラットフォーム	READYFOR
公開予定日	2026 年 08 月 28 日 21:00 （終了：10 月 17 日 23:00）
目標金額	50 万円
URL	https://readyfor.jp/projects/kintsugi サイト QR コード⇒



※公開日前はサイト上では「COMING SOON!」と表示されますが、公開日時になりましたら上記の URL より支援が可能となります。

いなか伝承社

地域に残る文化・自然・暮らしの知恵を次世代へ伝える活動を行っています。

今回のプロジェクトでは、これまで培ってきた伝統技術や地域とのつながりを活かし、熊本・九州の復興支援に取り組みます。



<お問い合わせ>

いなか伝承社 代表：田中 寛人

TEL：090-7486-1139

E-mail：inakadss@gmail.com

WEB：<https://www.inakadss.org/>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/inakadss>

インスタグラム：<https://www.instagram.com/hiroto.tanaka.71>